

おやま 町議会だより

NO.
176
2023/11月1日号



よーん・げんに
ニ

おやま健康フェスタはいはいグランプリ

R5.9.23



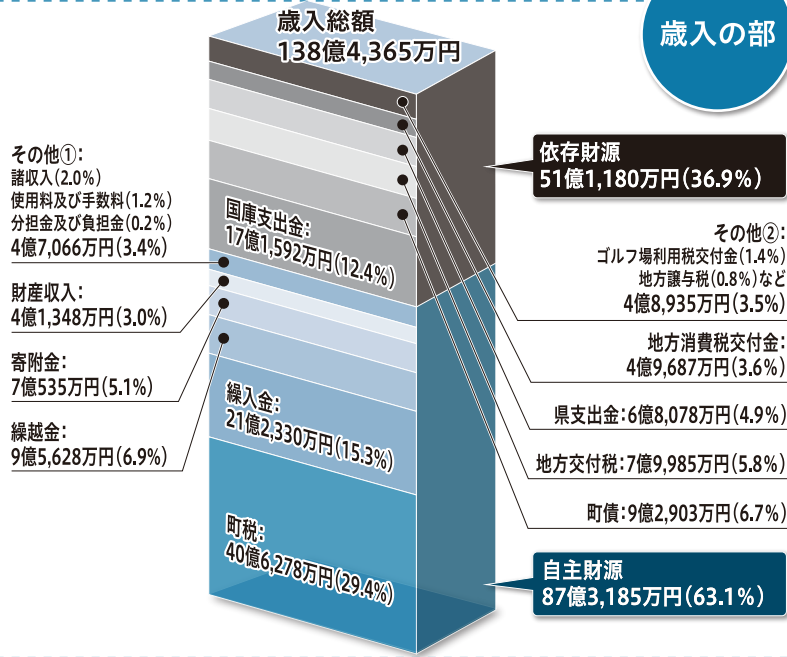
発行：
静岡県駿東郡小山町議会

- 2 | 令和4年度決算
各会計決算を認定
- 4 | 補正予算
- 6 | 各常任委員会
- 7 | 代表・一般質問に9人が登壇
- 16 | 第10回「わたしのベストスポット」

総額187億円

単年度収支額1億6,775万円赤字

一般会計歳入の総額は138億4,365万円で、
前年度よりも9億8,791万円(6.7%)減少。



令和5年9月定例会が8月28日から9月21日までの25日間の会期で開かれました。

令和4年度各会計決算の認定13件、令和5年度各会計補正予算12件、条例の制定・一部改正4件、同意3件、工事請負契約の締結2件、報告2件等の合計37議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

第4回 9月定例会

■決算の概要

- 一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入186億7,128万円、歳出175億2,195万円となり、差引額は11億4,933万円となりました。
- 一般会計の実質収支額は3億6,458万円、単年度収支額は1億6,775万円の赤字となりました。
- 町債の現在高は134億7,306万円となり、前年度比で4,029万円増加しています。

■令和4年度 会計別決算額 (1万円未満は切り捨てて表記しています)

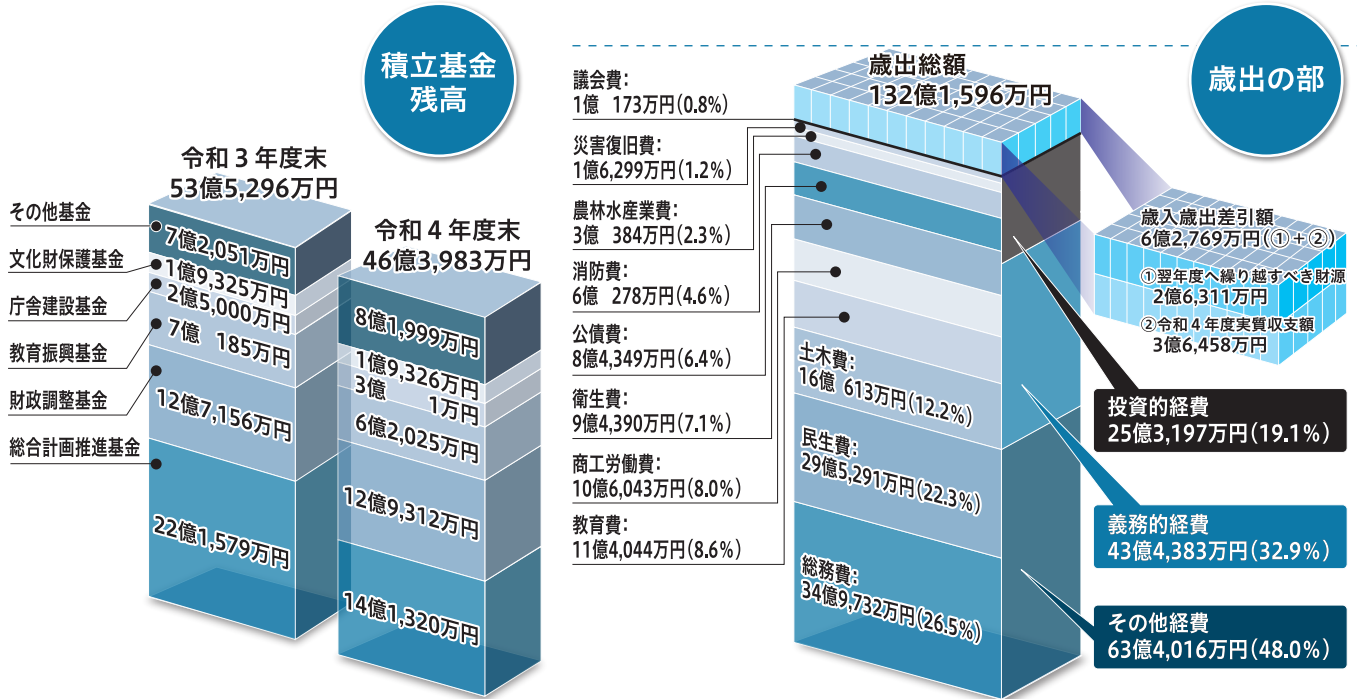
会計名	収入済額	対前年度比	支出済額	対前年度比
一般会計	138億4,364万円	9億8,790万円 減	132億1,595万円	6億5,931万円 減
国民健康保険	18億5,807万円	1億7,064万円 減	18億 852万円	1億1,607万円 減
後期高齢者医療	2億5,174万円	369万円 増	2億5,121万円	372万円 増
介護保険	20億 316万円	6,394万円 減	17億3,021万円	1億8,142万円 減
育英奨学資金	607万円	10万円 減	465万円	22万円 増
宅地造成	1億1,796万円	6,653万円 減	1億 90万円	1億 445万円 減
土地取得	1億1,540万円	1億1,517万円 増	1億1,540万円	1億1,517万円 増
上野工業団地	8,523万円	3,360万円 増	4,265万円	586万円 減
木質バイオマス発電	5,237万円	1億2,544万円 減	7,788万円	1億2,557万円 減
小山PA周辺開発	1億 230万円	2,353万円 増	6,393万円	1,462万円 減
温泉供給	343万円	8万円 増	42万円	11万円 増
下水道	2億3,185万円	2,689万円 減	2億1,016万円	2,941万円 減
水道(収益的)	3億5,919万円	3,211万円 増	3億3,871万円	2,137万円 増
水道(資本的)	1億9,253万円	4,506万円 減	3億5,925万円	1,811万円 減

令和4年度
決算を認定

一般会計・特別会計

一般会計 歳入138億円で前年比6.7%減少

一般会計歳出の総額は132億1,596万円で、
前年度よりも6億5,932万円(4.8%)減少。



■主要財務比率等

財政力指数は0.842(前年度比0.008増加)、経常収支比率は85.8%(前年度比8.1%増加)、実質公債比率9.1%(前年度比0.3%上昇)となりました。

- ・財政力指数…財政力を判断する指標で1以上は国からの地方交付税がなくなる。
- ・経常収支比率…財政構造の弾力性を判断する指標で70~80%程度に収まるのが妥当とされている。
- ・実質公債比率…標準財政規模に対する借金返済相当額の割合。

13会計の決算を認定

一般会計歳入歳出決算は、各常任委員会へ付託後、審議の結果、**全員賛成で認定**。

特別会計歳入歳出決算に関して、各常任委員会へ付託後、木質バイオマス発電事業特別会計は、審議の結果、**賛成多数で認定**。

国民健康保険特別会計ほか11会計は、審議の結果、**全員賛成で認定**。

反対討論 牧野恵一

木質バイオマス発電事業

反対の理由は、今回の補正予算の審議において、令和5年度の会計から令和4年度の赤字補填のため繰上充用した一連の会計措置がなかったこととすることによって決まったためである。

同じ9月議会において、一方では赤字補填はなかったことにする、一方では赤字補填により赤字は解消されたという報告をするというのは、不正な決算であると考ええる。

住民福祉の増進を

監査委員から報告

決算審査意見書の報告が池谷浩代表監査委員からあった。主な内容は次のとおり。

審査結果

予算執行は、議決の趣旨に沿い、おおむね適正に執行されている。滞納額について、時効期限までに、計画的、継続的な収納措置を要望する。

また水道事業及び木質バイオマス発電事業における経営の健全化に取り組むことを要望する。

令和5年度一般会計補正予算 (第3号、第4号)承認・可決 予算総額128億円に

**一般会計補正予算
(第3号)**
専決処分の報告

漬物生産者の設備導入等
の支援始まる

食品衛生法の改正に伴い、営業許可の取得が必須となる漬物生産者を支援することを目的として、設備導入や改修等により生じる経費の一部を助成する事業を速やかに開始するための補正予算。

既定の予算に1960万円を追加し、総額を126億7706万円とする内容で、審議の結果、**全員賛成で承認。**

**一般会計補正予算
(第4号)**

既定の予算に2億316万9000円を追加し、総額を128億8022万9000円とし、債務負担行為及び地方債の補正をする内容で、審議の結果、**全員賛成で可決。**

歳入の主なもの

普通交付税
9873万円の減額

町税が増額となったことに伴い減額。

繰越金
1億8298万円の増額

前年度決算額の確定。

土木債
5240万円の増額

町道一色中日向線道路改良工事によるもの。

臨時財政対策債
3571万円の減額
発行可能額の確定。

歳出の主なもの

老人福祉施設等運営費
1568万円の増額

シルバーワークプラザのトイレ改修工事と、賃借している底地の一部購入費用。

スポーツツーリズム推進事業費
500万円の増額

合宿誘致促進事業助成金の大幅な申請増によるもの。

町道整備事業費
5830万円の増額

町道一色中日向線の道路改良舗装工事を実施。

下水道事業会計繰出金
1128万円の増額

浄化センターの電動シンリンダー修繕と、新規の

宅地に係る公共ます設置工事費用について一般会計から繰り出して対応するもの。

**令和5・6年度
北郷小学校
(北校舎・連絡通路)
長寿命化改良工事
請負契約の締結**

建築後45年が経過した北郷小学校の北校舎及び連絡通路の長寿命化工事を実施するもので、契約額を2億7830万円とし、審議の結果、**全員賛成で可決。**

**令和5年度社会資本
整備総合交付金事業
町道2415号線
道路改良工事
請負契約の締結**

足柄SA周辺地区の町道整備を行う継続事業で、契約額を1億6500万円とし、審議の結果、**全員賛成で可決。**

**小山町印鑑条例の
一部を改正する条例**

個人番号カードを保有する人からの申請に基づき、スマートフォン、移動端末設備にも電子証明書を搭載できるようにする法律の改正を受け、小山町でも印鑑登録証明書コンビニ交付において、個人番号カードに加え、移動端末設備利用者証明用電子証明書が搭載されたスマートフォンでの申請を可能とするもので、審議の結果、**全員賛成で可決。**

**人権擁護委員
候補者の推薦に伴う
議会の意見**

国民に保証されている基本的人権を擁護し、自由人権思想の普及高揚を図ることを目的に活動している委員で、引き続き、
湯山 久さん(明倫)
和田 幸彦さん(足柄)
常盤 健一さん(北郷)
菅沼美智子さん(須走)の**選任に同意。**
令和8年12月31日まで。

**小山町固定資産評価
審査委員会委員
の同意**

固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するための委員会の委員で、引き続き、
小野 和枝さん(北郷)の**選任に同意。**
令和8年9月30日まで。

**小山町教育委員会
委員の任命**

教育長と4人の委員で構成している小山町教育委員会の委員について、引き続き、
山岸 繁子さん(須走)の**選任に同意。**
令和9年9月30日まで。



**宅地造成事業
特別会計
補正予算（第1号）**

令和4年度決算に伴う繰越額の確定と、今後の町が関連する宅地造成事業の適地を検討するための調査委託料、木質バイオマス発電事業特別会計の健全化のために操出をするための補正予算。

既定の予算から10万7000円を減額し、総額を1億4269万6000円とする内容で、討論の後、審議の結果、賛成・反対が同数で議長採決により可決。

反対討論

【園田豊造議員】

最も大切なことは、どう黒字化していくかを町民にしっかりと示すべきではないか。町がやっていることは、自分たちが発案した事業の失敗に、町民の福利向上に役立たせるべきお金を乱用していると断言できる。

賛成討論

【小林千江子議員】

操出金については、木質バイオマス発電特別会計の健全化のため、数年続いた繰上充用を終わらせ、来年度以降の木質バイオマス発電特別会計を望ましい状態にさせるため、地方財政法にも適った措置である。

反対討論

【牧野恵一議員】

特別会計から特別会計へ金を融通することは地方自治法209条で認められていない。地方財政法6条、7条の規定は公営企業に関するもので、今回の2つの特別会計は公営企業ではないので関係のない法律である。公営企業であっても、災害その他特別の事由がなければ認められないため、赤字だからという理由では繰入は認められない。

**木質バイオマス
発電事業特別会計
補正予算（第2号）**

主な内容は、翌年度歳入からの繰上充用を解消するため、宅地造成事業特別会計から繰入を行う補正予算。

既定の予算に948万4000円を追加し、総額を9273万円とする内容で、討論の後、審議の結果、賛成・反対が同数で議長採決により可決。

反対討論

【園田豊造議員】

現在は、売電にて収益を計っているが、この機械は売電と売熱がセットで成り立つもので、売電だけで黒字化することは容易ではない。なぜ不確定な事業に踏み切ったか私には理解ができない。またこの事業には、町長の親族の事業所が関わっており、利益相反を疑わざるを得ない。

賛成討論

【室伏辰彦議員】

湯船原地区の開発構想は、「木質バイオマス発電を中心とした産業拠点整備事業」として認められたものである。本年度の湯船原地区から生じる固定資産税額は、約4億5500万円、さらに増えていくことが予想される。これは木質バイオマス発電事業があるからこそであり、この事業を安定的に継続していくためのこの補正予算は、小山町の将来にとって大変重要な意味を持つ。

反対討論

【牧野恵一議員】

特別会計は独立採算が原則であり、利害関係者も少ないがゆえに特に透明性の高い運営が求められる。町民の財産を行政規律もなく扱う姿勢は認められない。経営体の改革・改善策もなく、他から金をもらうことで、経営の健全化を図れると考えること自体が不健全である。

賛成討論

【渡辺悦郎議員】

本事業は、静岡県の内陸のフロンティアを拓く取組の一つとして構想が認められ進めている。バイオマス発電により、湯船原地区の開発が可能となることを理論づけされている。

火災等もあつたが、現在は順調に運営されており、売熱を行うことで収支改善されると推測されるため、宅地造成事業特別会計から補填することに賛成する。

**水道事業会計
補正予算（第1号）**

主な内容は、湯船原配水場のマンガン除去能力を回復させ、良質な水道水を供給するため、ろ過タンク内に充填してある材の入替業務を実施するための補正予算。

収益的支出を1499万5000円増額する内容で、審議の結果、**全員賛成で可決。**

**下水道事業会計
補正予算（第1号）**

主な内容は、須走浄化センター機械棟に設置している汚泥貯留槽の扉閉装置及びマンホールポンプの非常通報装置の修繕を実施するための補正予算。

収益的収入及び支出を1027万7000円増額し、資本的収入及び支出を101万2000円増額する内容で、審議の結果、**全員賛成で可決。**

**国民健康保険ほか
6特別会計の
補正予算**

主には、令和4年度決算で繰越金が確定したことによる補正予算で、審議の結果、**賛成多数で可決。** それ以外の特別会計は**全員賛成で可決。**

常任委員会 報告

総務建設委員会

委員長 米山 千晴

総務建設委員会に付託された、9議案と決算認定9件について、9月12日に審査を行い、原案のとおり可決・認定すべきものとなりました。主な内容は次のとおり。

木質バイオマス 発電事業特別会計 補正予算（第2号）

Q 5月臨時会で、繰上充用金の財源として売電収入を増額補正しているが、ここで減額補正することは議決を無視していることにならないか。

A 臨時会の時点では、4年度の赤字状態を解消するために繰上充用をしました。予算において歳出を削減することはできないため、売電収入を増額せざるを得ませんでした。この度、5年度の経営状況から売電収入の増が見込めないこと、また来年度に繰上充用を行わないようにするために、他会計からの繰入金で対応しようとするものです。



(株) 富士のふもと農園を視察

Q 特別会計間でお金のやり取りをするのは、会計処理の原則を外れてしまっているのではないか。

A 地方財政法第7条で剰余金の扱いは、それぞれ繰入、繰出を行ってよいと規定されていることに則り措置するものです。



通行止めの町道 2181 号線（向田橋）を視察

一般会計

歳入歳出決算

Q ふるさと納税返礼品の主なものは。

A 寄付金額が多い順に、ベッド・マットレス類、ゴルフ場利用券、富士スピードウェイ施設利用券、強炭酸水のラベルレス等、アメーラトマットです。

Q 令和3年と4年に発生見されたごみ処理費の債務負担行為を設定しなかった理由は。

A 契約締結の段階では、損害発生の有無などが明確でないことから債務負担行為は設定せず、実績に基づき対応しました。

文教厚生委員会

委員長 小林 千江子

文教厚生委員会に付託された、8議案と決算認定5件について、9月14日に審査を行い、原案のとおり可決・認定すべきものとなりました。主な内容は次のとおり。

一般会計

歳入歳出決算

Q 町内の一部河川で、大腸菌数が環境基準値を超過した状況は。

A 鮎沢川で基準値を超えるときがありました。毎回超えている状況ではないので、今後も様子を見ていきます。

Q ごみの減量化、資源を推進した成果は。

A 一人一日あたりの収集量、排出量ともに若干ですが減っている状況です。

Q お達者度向上施策として5つの重点事業を展開した中で新たな課題などが生じたか。



谷戸防災倉庫の状況を確認

A 5つの重点事業を実施しましたが、お達者度については、県内で下位になっていきます。御殿場市は同じ生活圏にもかかわらず、比較的高い位置を維持しており、その原因については分析しきれず、課題を感じています。

Q 防犯カメラの録画内容が警察等に提供したことがあったか。

A 令和2年度から毎年3〜5件程度、警察に映像提供しています。内容は、交差点での交通事故、盗難車両の確認のため等



小山消防署の現状を視察

と聞いています。
Q アマチュア無線局アンテナ設置について、現在、免許を取得して開局している人がほとんどいないとのことだが。
A 町内にアマチュア無線の連絡協議会があり、約40人が在籍しています。毎年、地域防災訓練の情報収集等にご支援いただいております。大規模地震等が起きた場合には、アマチュア無線の活用は必要と考えています。
Q 小学校整備事業の内容は。
A 主なものは、成美小学校のプール更衣室の改修工事と、明倫小学校の給食棟の改修工事です。

代表・一般質問に9人が登壇

町政のここを問う



今後、すがぬまこども園への再編・統合を検討

代表質問 (一括)



渡辺 悦郎
(会派 令明)

YouTubeにてこの代表質問の様子がご覧いただけます



Q 子育て教育100年の計への挑戦の実践について

A 子育て環境の整備・充実を進めます

子育て教育100年の計への挑戦について、次の項目をどのように考え進めようとしているのか伺う。

Q 町立学習塾の開設は、どのように進めるのか。

A 町長
町内全域での開設が理想ですが、要望の多い須走地区での開設を目指し候補地の検討にも入っています。

Q 英語教育の強化はどのように進めるのか。

A 町長
自治体国際化協会の事業を活用した、国際交流員の受け入れを進めたいと考えています。

Q 連携型中高一貫教育の設立についての考えは。

A 町長
今後、県及び町の教育委員会と協議を重ね、連

携型の中高一貫教育校の設置を推進したいと考えています。

Q 公立こども園の会計年度任用職員の正職員化について、どのように考えるか。

A 町長
法人立ち上げによる移行が課題となりますが、安定雇用となるメリットもあり、処遇改善につながることから、検討する

必要があると考えています。

Q 町立するがおよまこども園の今後の方向性は。

A 町長
すがぬまこども園への再編・統合に向け、進めていきたいと考えています。

Q 駿河小山駅タウンセンターの建設について

A 具現化に向け、皆様と共に進めていきます

市街化区域の再開発の必要性が叫ばれるなか、駿河小山駅タウンセンター建設は町民や、企業等も注目する事業である。単に建物を建てるだけでなく、国道、県道との連接でインフラ整備が進み、住民が安心して安全に住みやすい環境として多く

の居住者を確保する壮大な事業である。町の存続に関わる大事業であると言っても過言ではない。

Q 町は町民の意見を聞き、企業と連携してどのように位置づけ、どのように進めていこうとしているのか伺う。

A 町長
駿河小山駅周辺の土地利用は、第5次小山町総合計画において、賑わいを取り戻す拠点エリアとしての整備を推進する、と位置付けています。

具体的事業化については、実際に複数の事業者に見ていただき、

また、地元の皆様の意見を伺うなど、構想を具現化し、魅力ある小山町の顔となるタウンセンターの整備を進めていきます。

代表質問 (一括)

YouTubeにてこの代表質問の様子がご覧いただけます



鈴木 豊
(新生会)



町による宅地創出事業 (宮ノ台分譲地)

Q 人口減少対策における今後の展望は A 若年層の移住促進と住み続けたいまちを目指します

小山町の魅力を上げて、移住定住対策を進めてほしいし、小山町に住みたい人の誘客の今後の展望をどのように考えているのか問う。

Q 移住と定住政策において、どちらを主体に進めていく考えか。

A 町長
若年層の流出に歯止め

をかける定住策と子育て世代の移住促進の両方を並行して推進し、住み続けたいと思えるまちづくりに努めます。

Q 町の空き家及び空き地などの不動産バンクの情報発信の今後の進め方は。

A 町長
移住者向けホームページ

ジヤ、空き家等の全国発信の仕組みを活用し、効果的な運用を図ります。

Q おやまで暮らそう課復活に伴う移住定住促進策の現状以外の新たな目指す施策の考えは。

A 町長
宅地創出事業を再稼働し分譲地開発を行うほか、商業施設誘致など、生活

利便性の向上に取り組めます。

Q 明倫地区の活性化に伴う菅沼地区区画整理事業の今後の手法は。

A 町長
事業を再開し地域活性化と賑わいを創出していきます。今後勉強会などを行いながら早期の組合設立に向け準備を進めます。

Q 小山町の観光立町へ目指す具体的方策は A 観光振興計画に基づく各施策を推進します

現在の5年計画の観光振興計画のもと事業を進めているが、観光立町への挑戦にて町長が進めていくうえで、今後の具体的方策は。

ていくのか。

A 町長
具体的な取組内容を示した観光振興計画アクションプランを見直しします。主に、富士山須走口のブランディングの向上、スポーツツーリズムの推進、大型観光施設との連携により経済効果を高める施策を講じます。

Q 小山町DMO活動について、観光産業としてのステップアップとしてどのような活動を考えていくのか。

A 町長
町の魅力的な地域資源を活用した誘客や、地域での消費拡大を図るため、観光客の受入体制を構築し、稼げる観光を目指します。

Q 今後、外国人も多く来町すると思うが、インバウンドの対策は。

A 町長
地域文化や地域資源を活用した体験ツアーの造成、観光施設における外国語表記の拡充、来訪者へのガイドなど、おもてなしの充実を図ります。

Q 町長は、小山町観光振興計画の見直しを考えているのか。見直しを考えるとしたら、今後、観光への具体的方策を考

一般質問
(一括)



石原 和美
(会派 令明)

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



乗り合いバスとして町内を走るデマンドバス

Q デマンドバス増車で安心安全の移動手段の充実を
A 増車の検討や新たな仕組みを模索します

移動手段のない方々の大事な足となっているデマンドバス。利用者は開始時の4倍以上、予約が取れないエラー率は44・5%と利便性が広がるとともに、利用者、エラー率が増え続けている。デマンドバスの増車で安心、安全の移動手段の充実を町として目指すべきでは。

Q 1台の増車でどれくらい乗車確率が上がるか。

A 町長

1台の増車で、およそ20〜30%程度、乗車確率は上昇すると予想されますが、利用時間帯が午前中に集中しているので、単純には、予約が取りやすくなるはなりません。

Q 車をコンパクトにして台数を増やすことは。

A 町長

車両の変更により多少の費用は削減できますが、運行経費が大幅に下がることはありません。

Q タクシー業者への働きかけの状況は。

A 企画政策課長

デマンドへの参入は厳しいなどの意見もありますが、参入に対し働きかけていきます。

Q 町民の率直な意見を聞くことが大事。具体的な取組は。

A 企画政策課長

高齢の方々の利用が多いことから、シニアクラブを中心にアンケート調査と対面による意見交換が実施できるよう、準備を進めています。

Q 健康マイレージの更なる周知で健康寿命アップを
A 健康マイレージ事業の見直しと周知に努めます

県発表の到達者度は、男性35市町中31位、女性22位と、どちらも平均以下。元気で長生きするには日々の努力が大事。町民の皆様全体にまだまだ周知されていない「おやま健康マイレージカード」の更なる周知で皆が賞品等を楽しみしながら体に良いことに挑戦できるよう、以下の取組が必要と考える。

Q カードを全世帯に配布し、内容の説明をする考えは。

A 住民福祉部長

コロナの流行初期に一度全戸配布しましたが、期待した効果が見られませんでした。そこで、現在進めている事業内容の見直しに併せ、広報誌等で周知を図ります。

Q カードに「私の健康目標」の欄があれば、記入しやすくなるのではな

A 住民福祉部

自らの健康目標をカードに記入することで、各自が取り組む活動や目指す指標などを明確化でき、健康の意識づけを高める効果が期待できるので、記入欄を設けることについて検討します。

Q スマイル賞を提供していただけの協賛事業所を増やす予定は。

A 住民福祉部

今後も事業所に向向き、事業の説明を行うなどして、御協力いただける協賛事業所を増やしていきます。

一般質問
(一問一答)



走り方教室の開催状況（基本フォームを身に付ける練習）

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



平野 正紀

Q ランニングクラブ設立の支援はできないか A 「走り方教室」を年間を通し開催します

陸上競技の底上げに着眼したランニングクラブの設立に関する支援を町が行ってみてはどうか。

町民のスポーツ実施率向上に努めます。

走り方教室の参加状況、指導内容、今後の展望は。

スポーツ振興基本計画が目指す方向性、目標に向けて、ランニング競技の現状と今後の展開は。

5年間の平均受講者数は29人です。走り方の基礎を中心に指導しており、専門知識と指導力を有する指導者の確保や育成が必要です。

御殿場市や三島市の特徴ある取組をどう分析し、今後取り組むのか。

民間事業者との連携も視野に入れながら教室の開催を検討します。

の将来を見越した長期的な育成を行っています。

市町対抗駅伝に向けた取組状況は。

走力を単年度で向上させる指導だけでなく選手

小中高生対象のランニングクラブ設立を町が支援し、将来的に町民誰もが参加できる体制を構築する考えは。

「富士マラソンフェスタ」や「スポーツ合宿の誘致」などを継続実施し、

必要です。

体育協会と連携し、走り方教室の支援を継続して、年間を通じて引き続き開催していきます。

Q 子育て支援の観点から子ども国保税均等割額の廃止を A 現時点で町単独で取り組むことは難しい

国保と被用者保険との保険料負担の格差が増大している。家計の負担が多い小中高生までの子ども国保税均等割額廃止を考えてはどうか。

現在、均等割軽減は未就学児までだが、国に対象を学齢期の小中学生や高校生まで拡大する考え、動きはあるのか。

18歳以下の均等割を廃止した場合、国保の負担額はどの程度を見込み、課税総額の割合、財源は。

子育て支援の観点から、現在の軽減範囲、半額軽減で充足しているか。本提案の見解は。

18歳以下の被保険者数全体の割合は。

現行制度に係る法改正の際の参議院厚生労働委員会で「対象者や減額幅の更なる拡充を引き続き議論すること」と附帯決議が付され、国は継続的に検討しています。

小山町国保の負担見込み額は約400万円で課税総額の約1・1%を見込み、その財源は他の被保険者に負担していただくものと考えます。

充足か不足かは、対象となる方々の受け止め方によります。現時点で町単独での取組は困難です。

7月5日時点の18歳以下の人数は172人で約5・3%です。

町民課長

住民福祉部長

住民福祉部長

一般質問 (一括)



池谷 元
(会派 令明)

YouTubeにて
この一般質問
の様子がご覧
いただけます



様々な情報が届く町の公式LINE



Q 公式LINEを活用したコミュニケーション強化は A 研究を進め利便性の向上を図っていきます

現在世界中で、また国内でもパソコン、タブレット、スマートフォンでSNSの利用者が増加しています。町の公式LINEで町のサービスの案内やイベント情報など様々な情報をお届けすることで、町民の方の生活に役立つ。町の公式LINEやSNSを活用して町民の方へより良い情報発信を行うため具体的な取組を考えているのか。

Q 公式LINEやSNSを活用した新たな取組を考えているのか。

Q 公式LINEでお悔み情報、火災発生や鎮火情報を発信する考えはあるのか。

Q 広報無線でお悔み情報を聞き逃した場合、次の放送を待たず情報を入力することはできるのか。

A 町長

A 企画総務部

A 地域振興課長

公式LINEをはじめとする様々なSNSは、日々進化しております。新たな取組については、運用方法等について常に研究を進め、住民の利便性が向上するような機能は、積極的に導入していきます。

お悔みの無線放送は、配信を検討していきます。また、火災の情報、今後、関係機関と調整をしていきます。

地域振興課に電話するか、順次設置を進めているデジタル戸別受信機で録音、再生をお願いします。

Q 公式LINEで町内広報無線と同じ内容の情報提供を考えているのか。

A 企画総務部

A 地域振興課長

現在、定期的な分析は実施しておりません。利用者のニーズを把握し、より良い情報発信を行うために、今後は随時、SNSの分析を行っていきます。

現在、町のホームページリニューアルに向けて、現状調査、課題の洗い出しを行っています。今年度中に課題の整理、リニューアル方針案の策定、仕様書の作成を行い、なるべく早い時期にリニューアルを実施していきたいと考えています。

現在、町内広報無線と同じ内容の情報提供を考えているのか。



広大な上野工業団地

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



牧野 恵一

Q 大規模工業団地造成事業と下流への豪雨対策を問う

A 周辺にリスクが生じぬよう防災安全対策を推進します

小山町は昭和47年の七夕豪雨、昭和54年10月の台風20号、平成22年の台風9号では山地崩壊、河川の氾濫、ライフラインの損壊、家屋の流出や倒壊、そして複数の犠牲者も出ています。こうした災害は小山町の地形に由来するもので宿命的に水害のリスクを負っている。さらに近年は、日本中がかつて経験したことのない豪雨に毎年襲われている。

Q こうしたなかで込山町長は大規模開発である上野工業団地の造成を進めてきたが、防災対策をどのように位置づけてきたのか。

いかに高い理想のまちづくりを掲げても、大規模開発は自然環境の大規模な改変を伴うのだから、

小山町の生命財産の保護は最重要課題だ。近年の異常気象からして、法律の最低基準を満足させた災害対策では不十分ではないか。また、雨水調整池からの放流先は急峻な沢であり防災の観点からは懸念を持つ。このような地形の上流部で大規模開発を進めたのは問題があったのではないか。

A 町長

平成22年の台風9号災害では、町内の山々で山腹崩壊やスコリア土砂の流出など山地に起因する災害が多数発生しました。私が、町長就任時以降、脆弱化した森林を復旧すべく、平成25年度から町

内山地を5つの地域部会に分け、それぞれの活動を支援するため、「小山町山地強化総合対策協議会」を設置し、町と地域とが一体となった災害に強い強靱な森林づくりの推進に努めております。また、平成27年度から国と町とが協力し、酒匂川、鮎沢川、須川を流域とした、民有林979ヘクタールを対象に「小山地区民有林直轄治山事業」を実施しており、さらにその他区域で特に甚大な被害があった地区においては、「県単独治山事業」により整備を進めております。

上野工業団地を含む「湯船原地区フロントティア推進区域」約300ヘクタールについては、国や県などと協議し、事業を進めていることから立地条件

については工業団地に適した地区であると考えております。近年、日本中がかつて経験したことがない1時間100ミリを超えるような豪雨により、各地で災害に見舞われている状況を確認しておりますが、無名沢川から須川の一部区間では、国土交通省の視距改良工事の遅延から排水路が整備されていない箇所もあるため、一刻も早く整備するよう要望を行い、周辺環境へリスクが生じないよう防災安全対策の推進に努めてまいります。



一般質問 (一括)



岩田 治和

YouTubeにて
この一般質問
の様子がご覧
いただけます



町内に設置されている防犯カメラ

Q 防犯カメラを増設できないか A 未設置の公共施設に順次設置していきます

近年、防犯カメラ、監視カメラは犯罪事件の解決はもとより、犯罪を未然に防ぐために欠かせない存在となっている。また、家庭内においても空き巣、窃盗などの犯罪が立証された例も多く、さらに万引き等の不正行為を立証するのに大変有用な証拠品となっている。

本町においては、平成28年度から令和4年度まで順次設置され、概ね町内の全区域を網羅し、現在設置数は42箇所となっている。しかし、多くのカメラ設置箇所は十分に満足できる範囲ではなく、地区によっては1箇所程度であり、死角となる場所や写りの状況を細部まで把握できるものでもない。また、東名バス停の駐車場や役場本庁、総合文化会館等の駐車場には防犯カメラの設置がなく、

駐車場の利用者には不安感がある。

これまでのカメラの設置には1基あたり40〜50万円の高額な費用が掛かるようであるが、従来のように新規に電柱を建て、電源を引くための工事が必要なため、多額の費用を要している。しかし、自動車用の廉価な汎用品のドライブレコーダー等を利用し、各地区の公民館などの公共施設等に設置できれば増設を図ることが可能と考える。あらゆる場所に設置でき費用も少額に収まる。

防犯カメラの映像は、犯人逮捕や犯罪の未然防止に欠かせない手段となっており、町民の安全と安心を確保するうえで欠かすことのできないツールであると思われ、さらにこども園等の保育の環境においても、監視目的のカメラ設置を要望する声も聞いている。また防犯カメラが設置されている看板だけで犯罪を抑止する効果があるとの指摘もされている。

Q 今後、防犯カメラ、監視カメラの増設が必要と考えるが、所見を伺う。

A 町長

現時点では、町内の路上等42箇所に設置している防犯カメラを更に増設する計画はありませんので、既存カメラの適切な維持管理を行いながら、機器の耐用年数に応じて適宜、更新などを実施していく方針です。今後は社会情勢や住環境の変化、インフラ整備の状況に際し、防犯カメラの増設や既設防犯カメラの移設についても検討する必要があります。防犯カメラは犯罪の抑止や、万一が犯罪や事故が発生した際の捜査活動に有効であるため、予算の状況や既設の防犯カメラの撮影範囲等を確認しながら、まずは未設置の公共施設に順次設置していきます。

一方、住民生活の安全安心の確保及び犯罪発生を抑止については防犯カメラの設置のみで実現できるものではないため、今後も「小山町生活安全のまちづくり推進協議会」をはじめ、御殿場警察署や各地区の防犯連絡協議会などとも連携を図りながら、地域ぐるみの防犯活動を推進し、さらに安全安心な町づくりに取り組んでまいります。

一般質問 (一括)



地域のために活動する消防団員

YouTubeにてこの一般質問の様子がご覧いただけます



白井 光昭
(会派 令明)

Q 小山町消防団の団員確保に対する対策は A 地域と連携して団員の確保に努めます

全国的な消防団員減少のなか、小山町消防団は合計167人で編成され、若年層比率は全国より高いものの、減少傾向にある。

また、役場職員の消防団員比率が高まることにより、災害時の災害本部対応力が危ぶまれる。現状、役場職員は33人、

19・8%、若年層は23人、13・8%である。

A 危機管理局長

小山町消防団員は定数は188人に対し、実員数は167人です。その内、消防団員を兼務する役場職員は33人で、今後、大規模災害が起きた場合、国や県等から人的支援を受け入れ、協力体制をとるため、災害対策本部の機能は保たれます。若年

層団員減少の対策としては、個人に支払う年額報酬と災害や訓練への出勤報酬の引き上げを行い、新型防火服の導入や教育研修への参加等、団員の処遇改善を図っています。地域と連携を深め、今後とも団員の確保に努めます。

Q 地域自主防災会の保険加入などの可能性は A 災害時、安心して支援活動ができるように進めます

災害時に町職員だけでなく、全町民の対応は難しく、地域自主防災会の協力が不可欠です。特に避難所運営や「避難行動要支援者」への対応には、地域自主防災会が不可欠です。

しかし、現状では、防災会会員が避難者にケガをさせてしまったり、自身がケガをした場合の保険がなかったり、十分な協

Q そこで、更なる地域自主防災会の協力を得るために、保険加入などの助成制度の新設が必要だと思ふのだが、その可能性について伺う。

A 町長

町は自主防災組織の活動に対して、防災資機材の購入や防災倉庫の整備

等への補助金の交付や、防災訓練時の事故に対する補償制度に加入をし、地域の実情に応じた自主防災活動を支援しています。災害が発生した際は、自主防災組織に避難所運営や、高齢者や障がいのある方など「避難行動要支援者」の避難支援の協力をいただきます。自主防災組織が安心して支援

活動を行えるように、新たに災害時の避難活動の事故等に備え、保険加入の助成について進めます。

わたし の ベストスポット

議員本人が町民の皆様にお勧めしたい、町内のここぞと思う場所を紹介いたします。

足柄から富士山を望む

足柄地区からの富士山 泉付近からの眺めです。の眺望といえば、金時山 露天風呂から見る富士山や誓いの丘からの景色が有名で素晴らしいですが、市街地からは場所にもありますが、全景を見ることができません。そこで、私が薦めする2つの富士山絶景スポットをご紹介します。1つ目は、あしがら温



一本桜と富士山



クアオルトコースから

健康ウォーキングコースからの眺めです。ここは血圧、脈拍の測定ポイントであり写真のように富士山が心身をリフレッシュしてくれます。皆さんもウォーキングに参加して、この富士山眺望のプレゼントをゲットしてください。

町内どの地域も自慢の富士山の眺めがありますが、私は地元足柄からの富士山が一番好きです。我がまちおやまが誇る何よりの宝物です。
(紹介者 平野 正紀)

議員研修報告

【静岡県市町議会議員研修】

静岡市「グランシップ」

8月17日、コロナ禍のため数年中止となっていた静岡県市町議会議員研修会が、静岡市のグランシップに県内35市町の全議員が一同に集まり開催された。

今年、「人を活かす地域づくり」として子ども食堂から多世代交流の場づくりへ」として、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ理事長、社会活動家の湯浅誠氏を講師に招いて

研修が行われた。講師は、長年ホームレス支援に従事され、さらに子ども食堂の運営から、弱者救済の居場所づくりなど支援活動を進めている。この経験から内閣参与到就任され、政策決定の現場に携わった経験から、官民協働とともに日本社会を前に進めるためには民主主義の成熟が重要と訴えられた。また、単に子ども食堂の名称だけではなく、弱者が集える居場所づくりを自治体や地域ごとに必要であることを説明され、現在、全国に7363箇所が運用され、毎年100箇所程度の増加傾向であると述べられた。しかし、地方の県が多くなっているが、都市部には少ない状況と説明された。

本町においても、今後、子ども食堂等の弱者救済施設の新設も検討し、そのスタッフも養成すべき



12月定例会の開催予定

- 11月28日【火】開会
町長提案説明
- 12月1日【金】
一般質問
- 12月4日【月】
一般質問
- 12月7日【木】
総務建設委員会
- 12月8日【金】
文教厚生委員会
- 12月14日【木】
閉会
委員長報告・
討論・採決等

(予備日)

いずれも、開会時間は10時の予定です。
決定次第、無線放送でお知らせいたします。

議会を傍聴してみませんか

本会議は、議場内にある傍聴席で傍聴することができます。

定員は29名です。希望される方は、会議の当日に、傍聴席入口で、住所・氏名をご記入ください。

編集後記

5年ぶりの足柄峠まつりが開催されました。恒例の領地争奪綱引きも復活し込山町長、加藤南足柄市長も参加して行われました。残念ながら小山町は惜敗しましたが、来年は領地を取り戻したいですね。

コロナも5類に移行しマスクを取って、顔を合わせ、語り合える、そのような何気ない日常が戻ってきました。まだ物価高騰など問題も多いですが、この困難を乗り越えましょう。

前号から新たな編集メンバーで編集作業を行っておりますが、今後更に読みやすく内容の充実を図るべく、皆様からのご意見、ご感想をお聞かせください。

(記 池谷元)

《編集委員》

- 委員長 渡辺 悦郎
- 副委員長 小林千江子
- 委員 池谷 元
- 委員 平野 正紀
- 委員 白井 光昭
- 委員 岩田 治和